



にている 鳥たち





くちばしは黒く、かたくて丈夫。

長さ約21~25cm



鳴かない。 くちばしでカタカタと音をだし コミュニケーションをとる

■ のまわりは赤く 白目ハッキリ

つウノトリはこんな。鳥

[英名] Oriental White Stork

「分類] コウノトリ目 コウノトリ科 コウノトリ属



~アラッペリ

萨印

1月

2月

3月

4月

5月

居るところ

川の浅瀬

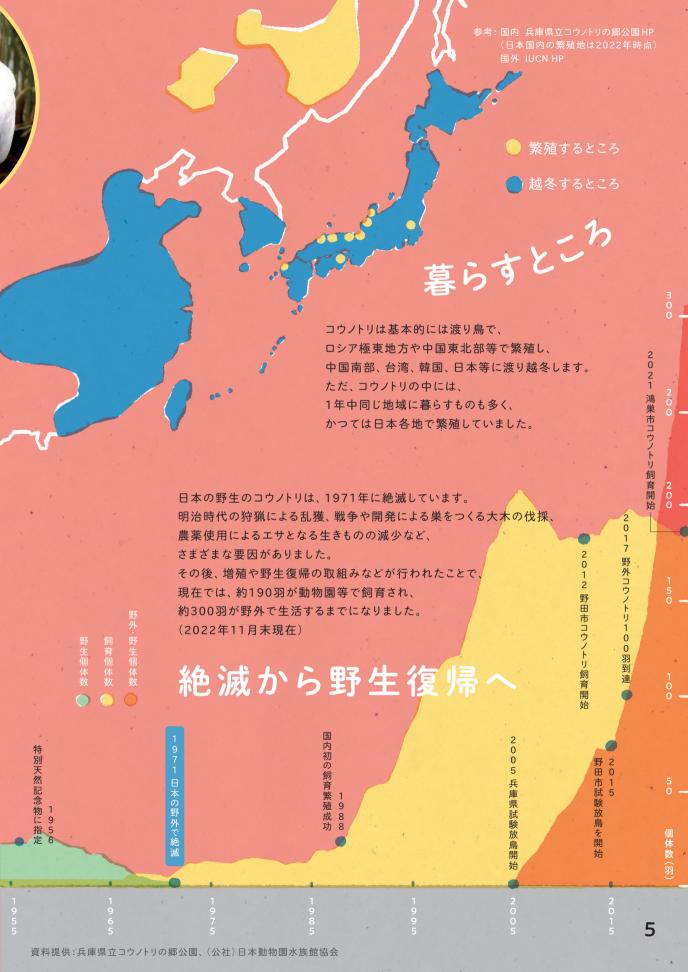
田んぼ、川の浅瀬

食べるもの

魚、カエルなど







コウノトリに会いに行く

一度は日本の野外で絶滅したコウノトリですが、1988年に多摩動物公園で初めての繁殖に成功し、現在、全国18ヶ所で約190羽が飼育されています。

1

埼玉県こども動物自然公園 _{埼玉県東松山市}



関東で会える場所

各施設ではコウノトリの姿を 見せるためだけではなく、 遺伝的多様性のために コウノトリを施設間で交換したり 放鳥施設へ個体や卵の提供も行うなど 「種の保存」の大きな役割を担っています。

3

野田市こうのとりの里



井の頭自然文化園



1

東京都

神奈川県

群馬県

4

江戸川区自然動物園 東京都江戸川区



多摩動物公園 東京都日野市



葛西臨海水族園 東京都江戸川区



9

よこはま動物園ズーラシア 神奈川県横浜市



恩賜上野動物園



鴻巣市コウノトリ野生復帰センター 「天空の里」 埼玉県鴻巣市





関東のまちにも飛来している

北海道から沖縄まで全国の空を飛び回っています。 あなたのまちにも飛んで来るかもしれません。

この マークは、2014~2022年にコウノトリの 目撃情報があった、まちの場所です。

野牛にもどす取組み

(2022年11月末現在)

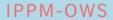
2005年に兵庫県立コウノトリの郷公園が 試験放鳥をスタート。 2007年に日本国内では46年ぶりに 野外でヒナが巣立ち、 今では日本各地で合計約300羽の コウノトリが牛息しています。

関東では

千葉県野田市が、自然と共生する地域づくりの シンボルであるコウノトリの飼育・繁殖を行い、 2015年から2022年までに15羽を 野外に送り出しています。 埼玉県鴻巣市では2021年から 飼育を開始し、繁殖させた

コウノトリの放鳥を目指しています。

野田市「こうのとりの里」を 飛び立ったコウノトリ



千葉県



コウノトリを「ふやす」ことと「野生にもどす」ための取組みを 全国的につなげるために、IPPM-OWS(コウノトリの個体群管理に関する 機関・施設間パネル)という組織が2013年に設立されました。 飼育・繁殖や野生復帰に関わる様々な施設、機関、自治体等が参加し 日本のコウノトリの保全をすすめています。

自然・人をつなぐ エコネット

関東地域ではコウノトリをシンボルとして、利根川・荒川・ 江戸川などの大きな川を中心に地域の自然を守り、自 然とともに人・活動をつなぎ、多様な生きものが生息でき る「生態系ネットワーク(エコロジカル・ネットワーク)」づ くりを進めています。豊かな自然を守り活かしながら地 域を元気にする取組みです。

身近だったコウノトリ

昔は身近だったコウノトリ。関東では古墳時代の水田遺跡から人の足跡とともにコウノトリの足跡が発見されています。江戸時代にはまちなかでもコウノトリが繁殖していました。また、古くから、めでたい鳥「瑞鳥」として愛され・親しまれています。







江戸時代に発行された 絵図や書物には コウノトリが 度々描かれています

6.6. A. W.



完全肉食の大きな水鳥コウノトリは、水辺の生態ピラミッドの頂点に立つ生きものです。コウノトリが生きていけるということは、豊かな自然があるという証しになります。



里山林の保全



川での環境づくり

コウノトリやほかの生きものが暮らせるように

利根川

下流部は、干潟などの自然豊かな環境に 生息するコジュリンやヒヌマイトトンボなど、 多様な牛物を育む湿地環境の保全再牛を しています。



江戸川

川とつながり湾状のかたちをした「ワンド」 や、川から独立した「たまり」など、小魚 や二枚貝などが生息し洪水時には避難場 所となる水辺づくりをしています。



ここで水辺をつくり湿地再生をしています

湿地とは

ここでよく登場する「湿地」。その環境は字の とおり、湿ってじめじめした土地のことです。 川や湖、沼、干潟、水田、ため池など、湿地 の種類はさまざまですが、生きものの宝庫と 言われる、大切な自然環境のひとつです。各 地でさまざまな湿地が再生されています。

川やその近くにさまざまな水辺を作っています

渡良瀬遊水地

洪水時に沢山の水をためるための掘削に併せて、さまざまな深さ、広さ、形の湿地環境を造り、多様な生きものの生育・生息空間づくりを進めています。

荒川

かつての荒川の自然を取り戻すために、 昔荒川が流れていた場所や河川敷を掘り、 湿地の環境をつくり広げています。



治水も自然も

河川敷を掘る・調節池を作る取り組みは、洪水を安全に流し、被害を防ぐだけでなく、多くの生きものを育む湿地をつくることもできます。治水も自然の豊かさも、どちらもかなえるのが、これからの川づくりです。



渡良瀬遊水地第2調節池



稲戸井調節池

田んぼでの環境づく

コウノトリも暮らせる田んぼをつくるために

魚などが移動できる

ドジョウやメダカ、カエル、カメなどは、田んぼ・水路・川を行き来して暮らしています。 生きものが移動しやすいように「魚道(ぎょどう)」や、スロープを作っています。



逃げたり、隠れたり

田んぼの水を抜く時期に、生きものが逃げる「江」という水のたまる場所を作ります。 魚やオタマジャクシ、水生昆虫などが天敵 から隠れるための橋や土管を置いたり、水 草も生やしたりします。





自治体や農家でさまざまな取組みをしています

生きものにも優しい

食べる・食べられる(p.4参照)の関係を守り・ 活かし、農薬などの使用を抑えたり、使わず にお米をつくる、人にも生きものにもやさしい 「環境保全型農業」が行われています。



野田市では農薬の代わりに黒酢を散布しています





稲に害を与える虫を 食べてくれる生きものたち



パンダだんご



上野動物園のパンダが食べる 「パンダだんご」にも環境に やさしいお米の粉が使われています



ふゆみずたんぼ

冬の田んぼには水がなく、カラカラに乾い ていますが、冬でも水をためておく「ふゆみ ずたんぼ」は、生きものたちのよりどころと なり、多くの水鳥たちも集まってきます。

RESTRICTION







コウノトリがはこぶ豊かな夢が 生きものが暮らせる、豊かな自然を守る・育てることは 安全・安心な食べものの生産や、 自然を楽しむ観光など、地域の特色を活かした、 人にとっても豊かな地域づくりにつながります。

野 市 保全した里山で 水田型市民農園を 行っています

道の駅などでの販売や、 市内の学校給食にも 使用しています







※ 巣市 説 ■ 海巣特選 ダロカッカーヤき 2kg



生産された減農薬米は 学校給食や、3歳時検診の プレゼントに活用しています

美しい自然の景色や、地域の歴史・文化、食は その地域の特色を表す魅力のあるものです。 地域に触れて楽しむ観光=「エコツーリズム」を進めています。



渡良瀬遊水地周辺地域の活性化に向けて、旧河川沿いを 活用したBBQや渡良瀬遊水地のヨシを使ったミニよしず制 作などの自然体験エコツアーを開催しています。



都市住民が有機米のオーナーとなり、環境に優しい農業を 体験する。地域住民と交流する地域に根ざした体験プログラ ムを年間通して行っています。

環境に優しいお米

毎日のように食べているお米がどんなところで、どんな風に作られているか知っていますか?

多くの生きものがくらせる、農薬や化学肥料を使わない・減らしてつくられるお米は、

雑草を抜く手間がかかり、お米の出来る量が少ない時もありますが、

人にも生きものにも安全・安心なお米です。

少し価格が高くても、私たちが食べ、支えることで

農地も自然環境も守られます。

野外博物館として保全した谷津で 無農薬米づくりを行っています



坂東市将門米ね!



「まさかうまいね」 茨城弁で「やっぱりおいしいね」と いう意味の自慢のお米です!

地域づくり

地域に縁のある生きものをテーマにしたイベントや 独自の自然環境を活かした施設は、その土地らしさが感じられ さまざまな地域から訪れる人を魅了します。



広大な湿地に豊かな自然が残る菅生沼は、ハクチョウの飛来地です。隣接する茨城県自然博物館では、自然について 学ぶ展示やプログラムが行われています。



手賀沼のほとりで毎秋開催される、ジャパンバードフェスティバル (JBF) は、4万人ほどが来場する国内最大級の鳥のお祭りです。



関東エコロジカル・ネットワーク 推進協議会

通称「関東エコネット」では、さまざまな 主体が連携・協働を行い、取組みを進めて います。

国土交通省、環境省、農林水産省、文化 庁、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、坂東 市、小山市、鴻巣市、野田市、我孫子市、い すみ市、企業、市民団体、学識者、動物園 など

写真等提供

坂東市、小山市、鴻巣市、野田市、我孫子市、いすみ市、 (公財)東京動物園協会、埼玉県こども動物自然公園、 江戸川区自然動物園、よこはま動物園ズーラシア、 IPPM-OWS、兵庫県立コウノトリの郷公園、(公社)日本動物園水族館協会、(公財)埼玉県生態系保護協会、 石川宣延、国土交通省(利根川上流河川事務所、利根 川下流河川事務所、荒川上流河川事務所)

おしえて コウノトリ BOOK

2023年(令和5年)2月発行 [発行]

関東エコロジカル・ネットワーク 推進協議会

(事務局:国土交通省 関東地方整備局河川部河川環境課)



編集:(公財)日本生態系協会



コウノトリも 暮らせるように できることを やってみよう

食べて応援しよう

環境に優しい農法で できたものを食べる





田んぼのことを知ろう

環境に優しい農業を 体験してみる

コウノトリのことを知ろう

動物園等でコウノトリを見る







コウノトリの暮らしを知ろう

コウノトリが暮らす 環境を訪れてみる

自分のまちを調べよう

地域の田んぼなどの 生きものを調べる

コウノトリの 餌生物量調査マニュアル (農地版)



